

冬 着物姿の女性らが良縁を願って の風物詩 三寺まいり

1月15日（火） 古川町

古川町で300年以上続く冬の伝統行事「三寺まいり」が行われ、約14,000人が足を運びました。

三寺まいりは、親鸞聖人のご遺徳を偲んで、町内の3つのお寺を参拝したことが起源とされ、明治時代からは野麦峠を越え糸引きに行った女工たちが帰省し、着飾ってお参りをしたので、若い男女の出会いの場となりました。現在では、縁結びのおまいりとして広く知られています。

この日、瀬戸川沿いには約1,000本の和ろうそくが灯され、着物姿の女性らがゆめく炎に手を合わせる姿や、恋愛成就を願う灯ろうが瀬戸川に静かに流れるなど、町は幻想的な雰囲気に包まれています。



千本ろうそくに手を合わせる着物姿の女性ら



まつり広場で行われた点灯式



本堂で参拝する様子



願いを込めて灯ろうを流しました



お寺で参拝する着物姿の女性ら



大勢の人でにぎわう町並み



お寺で参拝する市民や観光客

吉 YCKプロジェクトで「三寺ミッション」 城高校生も三寺まいりを盛り上げました

1月15日（火） 古川町

吉城高校の生徒がYCK（吉城地域キラメキ）プロジェクトリーダー特別企画「三寺ミッション！」を行いました。これは、三寺まいりの歴史や本質を観光客をはじめ、地元の子どもたちに伝えようとYCKプロジェクトのリーダー達が有志で企画したもので今年で2回目となります。

この日は、「知らなかった！目からうろこの三寺まいり！」と題し、3カ所のお寺で三寺まいりの歴史や、お寺の特徴などを高校生が着物姿で詳しく説明しました。また、観光チラシには載っていない三寺まいりのお寺情報や参拝方法、近隣の休憩場所、飲食店などを掲載したパンフレットを作成し、まつり広場などで配布しました。



高校生が作成した原稿で説明しました



多くの市民らが参加しました



参拝の作法を説明する生徒

素 「ハイパーカミオカンデ計画」について講演 粒子と宇宙の大きな謎に挑戦したい

1月12日（土） 神岡町公民館

神岡町で建設が計画されている素粒子観測装置「ハイパーカミオカンデ」に関する講演会が12日、神岡町公民館で行われ、約200人の市民らが会場に集まりました。

この日は、プロジェクトのリーダーである東京大学宇宙線研究所の塩澤真人教授から「ハイパーカミオカンデ計画」と題し講演が行われ、ハイパーカミオカンデはスーパーカミオカンデの次世代機で、2020年に着工し、2027年の完成を目指していることや、陽子がより軽い素粒子などに壊れる現象「陽子崩壊」の観測などハイパーカミオカンデで素粒子と宇宙の大きな謎に挑戦することを説明しました。



ハイパーカミオカンデについて説明する塩澤教授

新 第48回飛騨市ふるかわ元旦マラソン2019 春の古川を駆け抜ける

1月1日（火） ハートピア古川

第48回飛騨市ふるかわ元旦マラソン2019が開かれ、市民や帰省者ら886人のランナーが参加し、ハートピア古川を起点に思い思いの走りを楽しみました。

この日は、とても冷え込みましたが、降雪や道路にはほとんど積雪もなくマラソンを行うには良い天気となりました。

開会式では、毎年恒例の仮装したランナーのパフォーマンス賞の発表や最初に受付を行った中切ファミリーによる選手宣誓が行われました。

マラソンでは、小さな家族連れやスポーツ少年団など、参加者は1.7キロ、2.4キロ、4.2キロのコースをそれぞれのペースで元気いっぱい走り抜きました。



元気よくスタートを切る参加者

市 森安発電所に関する協定書締結式 と協力し水力発電所の開発を進める

1月15日（火） 市役所

市と宮川水力開発合同会社は15日、同社が行う小水力発電所の開発について、相互に連携し開発等を進めるための協定を結びました。

同社は昨年10月に、宮川町のH・C建設と、関西電力の子会社である環境総合テクノスで設立されました。発電所は、宮川町森安地内に建設される予定で、2019年6月に工事開始予定、2020年10月の運用開始を目指しています。

締結式では、環境総合テクノスの川島勉富山総括支店長、H・C建設の堂前弘一代表理事、都竹市長が「森安発電所に関する協定書」に署名しました。



協定書を手にする川島氏（右）と堂前氏（中央）

飛 飛騨市新春経済懇談会 驛市経済界の更なる発展を

1月5日（土） 河合町 友雪館

飛騨市新春経済懇談会が河合町の友雪館で行われ、市内の企業代表者や各種団体役員、行政関係者など約120人が参加しました。

この懇談会は、飛騨市、古川町商工会、北飛騨商工会、神岡商工会議所が発起人となり、新春を迎え、飛騨市の更なる発展のために、経済団体をはじめとする関係者が新年の抱負や展望を語り合う場として毎年行われています。

祝宴では、市議会の高原議長による乾杯やめでたなどの祝唄が行われ、参加した関係者らは和やかに歓談していました。



懇談会の様子



地域 企業版ふるさと納税を活用し市へ寄付 の活性化に繋げたい

1月25日（金） 市役所

日本レヂボン(株)から企業版ふるさと納税を活用し、市へ寄付をいただきました。

寄付額は500万円で、市が進めている飛騨神岡宇宙最先端科学パーク構想推進事業（宇宙物理学研究施設「ひだ宇宙科学館カミオカラボ」）の整備財源に充てられます。

この日は、目録授与ならびに感謝状贈呈式が行われ、同社の洞口健一代表取締役社長と湯之下副市長が出席しました。なお、ひだ宇宙科学館カミオカラボは3月27日（水）にオープン予定で、施設内に企業名を入れたプレートが掲示される予定です。



感謝状を手にする洞口社長（右）

税金 飛騨神岡高校の生徒による租税教室 金の種類や活用方法について学ぶ

1月18日（金） 神岡中学校

飛騨神岡高校の生徒による租税教室が18日、神岡中学校で行われ同中学校の3年生59人が税金の種類や活用方法などについて学びました。

この教室は、同高校の総合学科の中でビジネス会計系列を選択している3年生18人が、税金や市の財政状況などを事前に学び、消費税などの身近な税をはじめとした税金の種類や、公共事業などを通して市民の暮らしを支えていることなどについて分かりやすく説明しました。

その後、「新しい税を考えよう」をテーマにグループ討議が行われ、「スマホ税」や「都会税」など各グループで考えた新しい税金について意見を発表しました。



税金について説明する神岡高校の生徒

百 渡邊ちよさん百歳褒賞 歳おめでとうございます

1月28日（月） 飛騨寿楽苑

古川町壱之町の渡邊ちよさんが百歳を迎えられました。これに合わせ、市民福祉部の柚原部長らが施設に訪問し、賞状やお祝いの花束などを渡邊さんに渡しました。

この日は、家族や入居している施設の方々が集まり、渡邊さんの百歳をお祝いしました。

ご家族は、「健康で長生きしてくれて感謝しています。これからも元気で長生きしてほしいです」と話しました。



花束を手記念撮影

伝 河合小学校の児童が卒業証書の紙すき 統の山中和紙で自身の卒業証書を作る

1月25日（金） 河合町 いなか工芸館

河合小学校の6年生児童が同町のいなか工芸館で、児童自身の卒業証書に使用する山中和紙の紙すきを行いました。

この日は、同校6年生の児童4人が参加し、同町で和紙作りを行う柏木一枝さんの指導の下、紙すきを行いました。

児童は、型枠で原料となる「こうぞ」をすき、水分を取った後、型枠から外し、乾燥機に乗せて和紙作りを行いました。乾燥機に乗せた後は、櫛の葉でこすりながら伸ばし、シワをとるなど、きれいな和紙になるよう仕上げを行いました。



山中和紙の紙すきを行う児童